

## 杉一クラブが全国優勝を報告

本日、全日本バレーボール小学生大会で6年ぶり3回目の優勝を果たした「東京杉一クラブ男子チーム」が区役所を訪れ、田中良区長に優勝の喜びを語りました。

東京杉一クラブは昭和51年に区立杉並第一小学校のクラブとして発足しました。当初は杉並第一小学校の児童のみで構成されていましたが、現在は区内の小学校のほか、近隣区の児童が在籍。小学1年生から6年生までの32名（男子20名・女子12名）が日々練習に励んでいます。

第39回全日本バレーボール小学生大会は、6月に東京都予選が開催され、参加35チームの中で、東京杉一クラブ男子チームが優勝しました。そして、全国の予選会を勝ち上がってきた48チームが参加した全国大会が、8月6日に開幕。順調に勝ち進み、8月9日に行われた決勝戦では、全国優勝の経験のある強豪「片桐VBC」（奈良代表）を2-0のストレートで下し、見事優勝を果たしました。

本日午後4時、東京杉一クラブを優勝に導いた宇賀田眞一（うがたしんいち）監督をはじめ、12名の選手が田中区長を表敬訪問。キャプテンの佐々木綾星（ささきりょうせい）選手は、「日頃の練習の成果を発揮し、チームワークの良さが、全国大会につながったと思います」と、笑顔で優勝の喜びを伝えました。



田中良杉並区長は、「皆さんが、全国優勝の目標を掲げ、その実現に努力してきたこと、そして、その目標を実現できたことは、大きな自信になったことでしょう。今後の人生でも、そうした目標を掲げて努力することを忘れないでほしい」と、あいさつするとともに、「杉並区スポーツ栄誉章」を授与しました。



区役所1階ロビーには、全国優勝を祝う区民や区職員が集まり、選手たちの訪問を盛大な拍手で出迎えました。

### 【問い合わせ先】

スポーツ振興課 電話3312-2111（内線1671）